

対面とオンラインを併用した 授業、研究会、実験教室を成功させるには

2024 年 6 月 30 日 (日) 10:00~16:00 【ハイブリッド開催】

主催：NPO 法人理科カリキュラムを考える会 <https://rikakari.jp/>

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟4階402室
東京都渋谷区代々木神園町3-1 (オンラインからも参加できます)

対象：小・中・高・大の理科教育に携わる方、教育ジャーナリスト、一般

参加費：一般3,000円 会員2,000円 学生1,000円 定員：対面80名+オンライン120名

申込み：右の URL または QR コードから申し込んでください <https://rikakari20240630.peatix.com>

問合せ：理科カリキュラムを考える会事務局 小川慎二郎 [rikakari.jimu\(at\)gmail.com](mailto:rikakari.jimu(at)gmail.com)



Web を利用したオンラインのミーティングやイベントで、音声がか途切れる、ハウリング、配信が切れる、動画が見にくいなどのトラブルを防ぎ、安定した運営や参加をするにはどうすればいいでしょうか。オンラインで行われる授業や研究会、実験教室などで、主催する側にも、参加する側にも有用な情報を紹介し、議論します。

対面とオンラインのハイフレックス授業は、教室には行けないが本当は学びたい子どもには大切なものですが、一定の配慮がないと、授業の断片にしか参加出来ません。オンラインでの参加者には、どんな配慮が必要なのでしょう？

教員の研究会の多くでは、ベテラン教員と若手教員の間 ICT 利用の差による壁ができています。利用するメディアの違いによって若手と接点を持つことができないベテランは、優れた教育実践の蓄積を元にしたノウハウを、研究会で若手に伝えることができなくなっています。しかし、Web メディアについての少しの知識があれば、若手とベテランが交流でき、一緒に新しい時代にふさわしい教育を模索できるのです。そのためには、どのような知識が大切でしょうか？

実験教室や科学イベントは「青少年のための科学の祭典」をはじめとして全国各地に広がりましたが、コロナ渦を契機に継続が難しくなったものが続出しています。もちろん HP や YouTube 等には沢山の実験が紹介されていますが、Web から情報を得るのと実験を体験するには、大きな隔たりがあります。しかし、オンラインで開催される実験教室でも、子どもが実験道具を持って参加すれば、対面と同じ効果が得られます。Web の時代だからこそ多くの子どもが体験できる機会を作るには、どんなノウハウが必要でしょうか。

オンラインのミーティングやイベントの開催や参加は、何度繰り返しても難しさが付きまといますが、今回はその入門と、さらにその一歩先を目指したシンポジウムを開催いたします。

概要

Web イベント参加者 (自宅から/会場でスマホなどで) として

- (1) Wi-fi は最低限どんなものを用意する？適切なネット環境の構築とは？
- (2) ハウリングを防ぐには、マイクとスピーカーにどんな工夫が必要？
- (3) 自宅から明るい表情と聞きやすい音声で参加するには？

Web イベント主催者として

- (1) 講演者、発言者、実験を映すには、どんなカメラを使う？
- (2) 音声がよく聞こえる環境を作るには、マイクとスピーカーにどんな工夫をする？
- (3) 集客、参加者との連絡を手軽に行うセミナー集客サイトや SNS の使い方は？
- (4) 必要な機材はどうやって購入・レンタルする？

登壇者 (予定)

滝川洋二 本会理事長 / 小川慎二郎 本会事務局長 (早稲田大学高等学院)
佐々木仁 (株)アルファ企画 (動画配信、オンライン授業、Web 会議等) 代表取締役
松永祥太 パイオニア(株) 技術開発本部・NPO 法人ガリレオ工房 WEB 担当
佐野哲也 音楽愛好家・科学の祭典東京大会 in 小金井 WEB 担当 他
金子東雲 (株)NTT データ ネットワークソリューション事業部

